

LEDマルチリフレクターヘッドライトkit 取扱説明書

HONDA '18～ モンキー125/ABS (JB02/JB03/JB05)専用

H4バルブ 12v 30w/30w (Hi/Lo) 6,000k or 3,000k

警告

- 取付けは取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 取付け前に必ずバッテリーのマイナス側のターミナルコードを外して、キーOFFである事を確認してください。
- LEDチップは手で触れたり汚さないでください。汚れの付着は熱溜まりによるLEDチップの焦げの原因となります。
汚れによるLEDバルブの損傷については保証の対象外となりますので取扱いには十分にご注意ください。
- 本製品は精密機器ですので取扱いには充分ご注意ください。落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。誤った取扱いは故障の原因となったり、怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- **本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。**分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 点灯中のヘッドライト内のLED発光を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急な温度変化でレンズやLEDバルブの破損の原因となります。また、LEDバルブ本体と後方のファン取付けステー、コントローラーユニットは高温になりますので触らないでください。

注意

- 本製品は、HONDA '18～ モンキー125/ABS (JB02/JB03/JB05)専用です。**※適合車種以外には取り付け出来ません。**
- 本製品はオートバイ専用となっておりますので四輪自動車への使用はできません。四輪車用は別製品で販売しております。
- 紙や布で覆ったり燃えやすい物の近くで点灯させないでください。火災や異常加熱を引き起こす恐れがあります。また、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 点灯した状態での取付けは行わないでください。故障や火傷の原因となります。
- 本製品は生活防水ですが完全防水ではありません。コントローラーユニットから出ているカプラーはビニールテープや自己融着テープなどを巻くかコーキング剤などで防水処理をしてください。必要以上に水で濡らす事は避けてください。
- 高圧洗浄機による洗車を行う際は本製品に直接高圧洗浄が当たらないようにしてください。
- LEDバルブやコントローラーユニットを落としたり、強い衝撃を与えるなどしないでください。破損や性能の低下、寿命を縮めるだけでなく、ケガの原因にもなります。
- LEDバルブの組み付けには、この  グリス マークで示した箇所に必ず付属のシリコングリスを塗ってください。
- 防水ファンを覆い隠さないでください。ファン後方には吸い出した空気が流れる十分なスペースを確保してください。
- ネジ部の緩み防止にネジロックをご使用ください。また定期的な増し締めを行ってください。
- 本製品はキーONで点灯致します。**エンジン停止状態で長時間点灯し続けるとバッテリー上がりの原因となります。**
- 取付けは専門知識と技術が必要です。熟練したメカニックのいる指定整備工場などで行ってください。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 取付け作業を開始された時点で、本説明書の全ての記載事項に同意した物と判断致しますのであらかじめご了承ください。
- 取付け作業中または使用中に少しでも異常を感じたら、ご購入の販売店または当社サービス課までお問い合わせください。

製品の主な特長・仕様

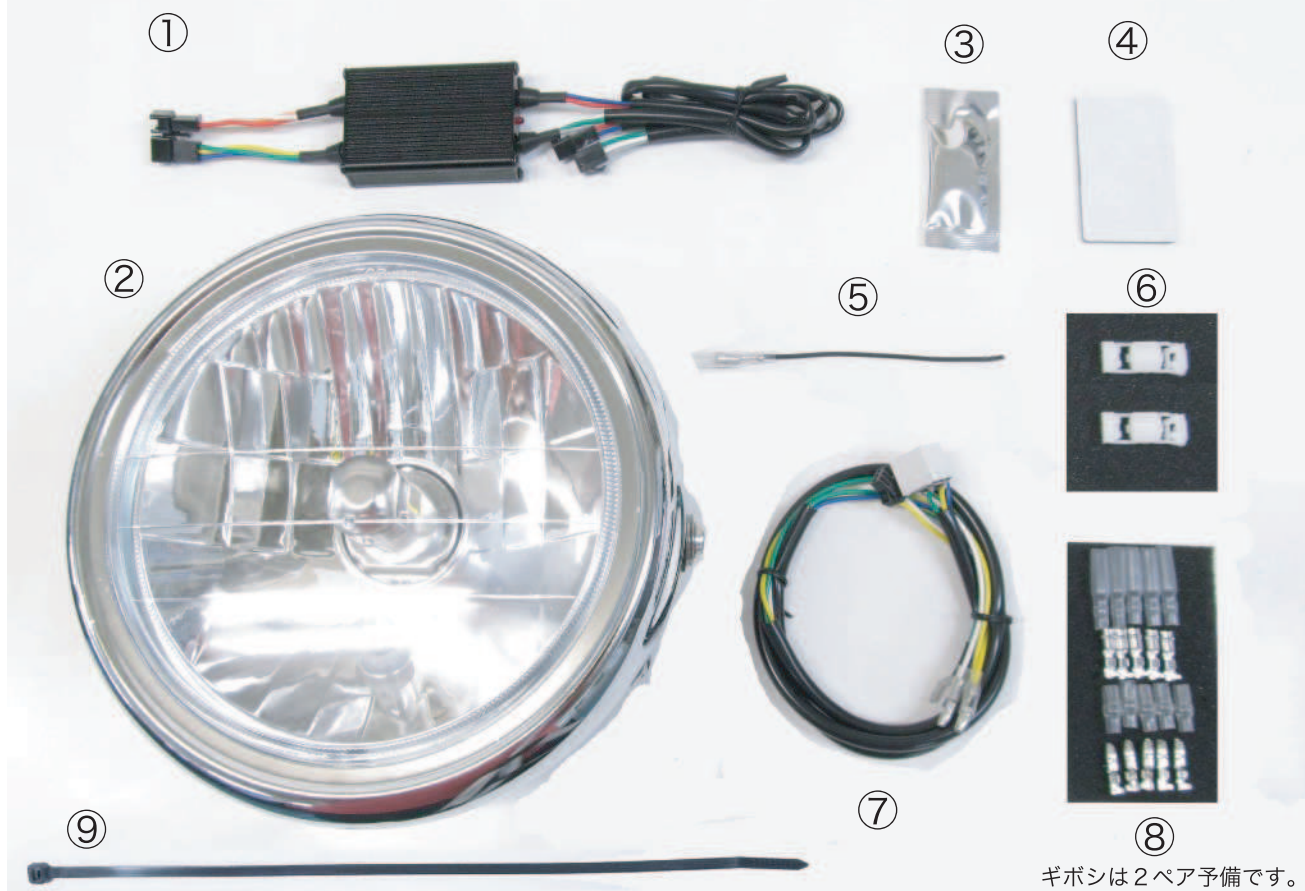
- **車検対応！**
本製品は車検基準合格品です。車検適合基準の光度15,000カンデラに対して当社にて32,400カンデラを計測しております。
- **ノーマルLEDよりも明るい！**
ノーマルのLEDヘッドライトロービーム10.1wと比較してルーメン値で約3倍以上の明るさです。
- **省電力設計！**
消費電力はHi / Lo 各30wです。アイドリング時の発電量が高いのでバッテリー上がりの心配はありませんが、定期的なバッテリー充電をお勧め致します。
- **信頼のCREE社製LED採用！**
発光体には耐久性、信頼性の高いCREE社製XLamp XP-L LEDsを使用しています。
Hiビーム、Loビームにそれぞれ3個のLEDを配置してHi/Lo切り替えが可能です。
- **いきなり明るい素早い点灯！**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **防水冷却ファン採用！安心の冷却システムで常に明るい！**
LEDで発生する熱をロスなくアルミ放熱板に伝えて防水冷却ファンで冷却する事で長時間連続点灯しても熱の影響を受ける事無くフルパワーで明るい光が持続します。

仕様

- 定格電圧…DC12v
- 消費電力…30W(Hiビーム) / 30w(Loビーム)
- 色温度…6000/3000k
- 使用LED…CREE社製 XLamp XP-L LEDs

構成部品

- ①コントローラーユニット(30/30w用) DOW-3055 × 1
- ②ヘッドライトユニット(H4 LEDバルブ、ファン、ゴムキャップ70mm組み込み済み) × 1
- ③導熱用グリス × 1
- ④コントローラー用両面テープ × 1
- ⑤電源コード(黒線メスギボシ) × 1
- ⑥エレクトロタップ(白) × 2
- ⑦ヘッドライト接続ハーネス × 1
- ⑧ギボシ&ツスリーブ × オス、メス各5ペア
- ⑨結束バンド300mm × 1

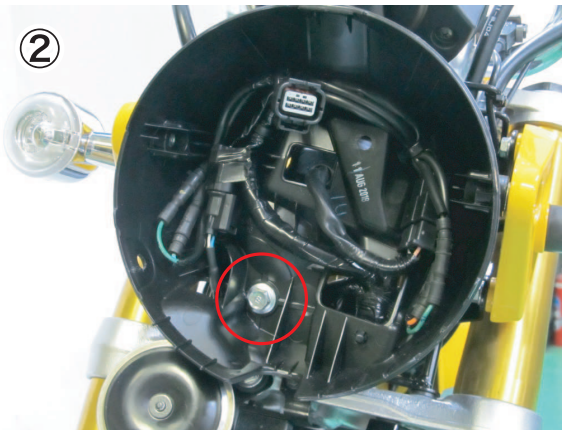


取付け手順 ①～⑫

①○で囲った部分の+ネジ2本(左右)を外します。



②ヘッドライトレンズを取り外します。
○で囲った部分の六角頭ネジを外します。



③○で囲った部分の六角穴ネジ2本(左右)を外します。
※取り外したネジは使用しません。



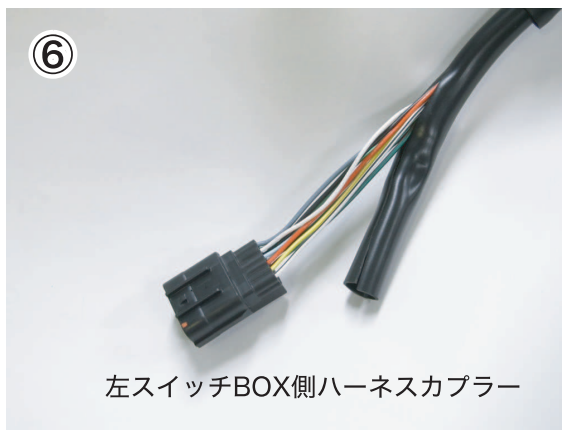
④各ハーネスのカプラーを分割してライトケースを取り外します。分割したカプラーは接続し直します。



⑤左側スイッチBOXから出ている黒12P防水カプラーを分割します。



⑥スイッチ側メスカプラーの配線のビニールチューブを画像の様に剥きます。コードを傷付けない様に注意！



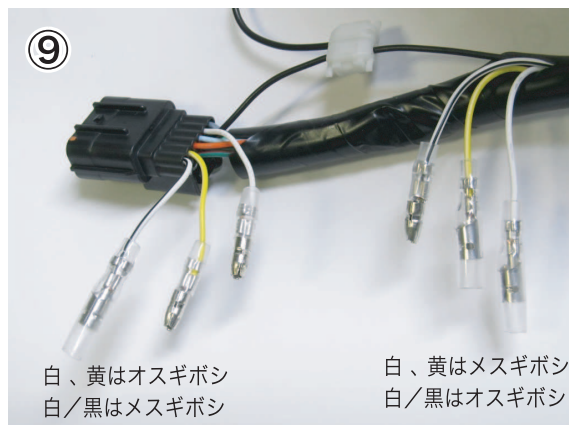
- ⑦ 黒12P防水カプラーの白、黄、白／黒のコードを切断します。



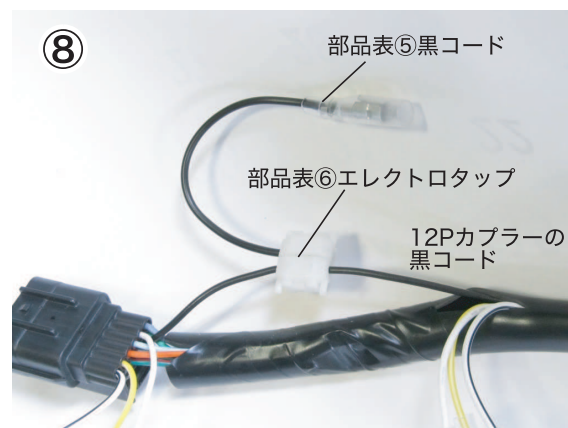
白、黄、白／黒、黒の4本以外のコードは使用しませんので、ビニールチューブに戻してテーピングします。

- ⑨ ⑦で切断した白、黄、白／黒コードに部品表⑧のギボシを圧着します。カプラー側ギボシはノーマルに戻す際に必要になります。

※ギボシの圧着には必ず専用工具を使用する事！
ラジオペンチなどではカシメると通電不良や発熱、
発火の原因となり非常に危険です！



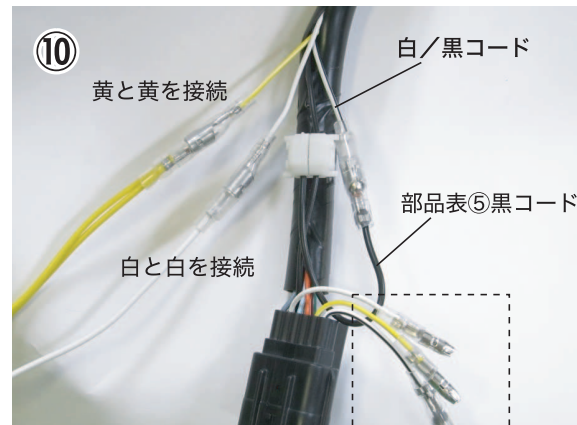
- ⑧ 黒12P防水カプラーの黒コードに、部品表⑤の黒コードを部品表⑥のエレクトロタップで結線します。



- ⑩ 部品表⑦ヘッドライト接続ハーネスの白と黄をスイッチ側ハーネスの同じ色のコードと接続します。

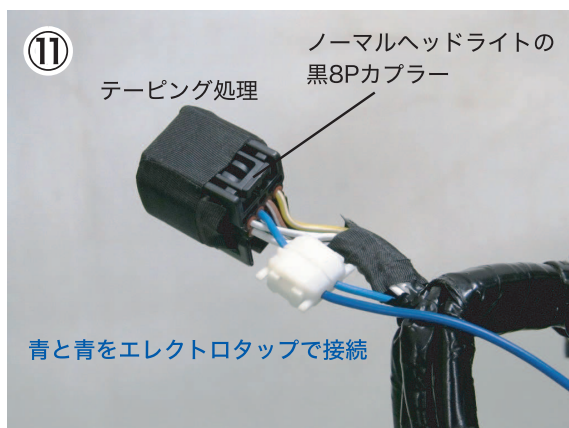
部品表⑤の黒コードを白／黒のコードに接続します。

※点線で囲った12Pカプラー側の3本のコードは、
どこにも接続しません。ノーマル状態に戻す際に
スイッチ側のコードと接続します。

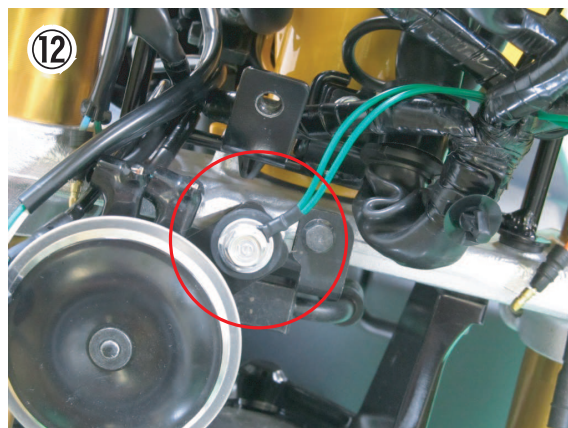


・ギボシの圧着(カシメ)に使用する電工ペンチはホームセンターなどで比較的安価で販売されておりますので必ずご使用ください。
・電工ペンチのご使用方は、電工ペンチの取り扱い説明書に従って正しく圧着してください。
・ギボシを圧着した後はコードを軽く引っ張ってギボシから抜けない事を必ずご確認ください。圧着不良は非常に危険ですのでご注意ください。

- ⑪ ノーマルヘッドライトの黒8Pカプラーの青コードに部品表⑦ヘッドライト接続ハーネスの青コードを部品表⑥のエレクトロタップで結線します。



- ⑫ 部品表⑦ヘッドライト接続ハーネスの緑コードを、ホーンを固定しているボルトと共締めして、ボディアースへ接続します



取付け手順 ⑬～⑰

- ⑬ 黒12P防水カプラーのスイッチ側の配線をハーネステープなどで覆って反対側の黒12P防水カプラーと接続します。



- ⑭ 部品表⑦ヘッドライト接続ハーネスのリレー部を左スイッチハーネスに結束バンドで固定します。

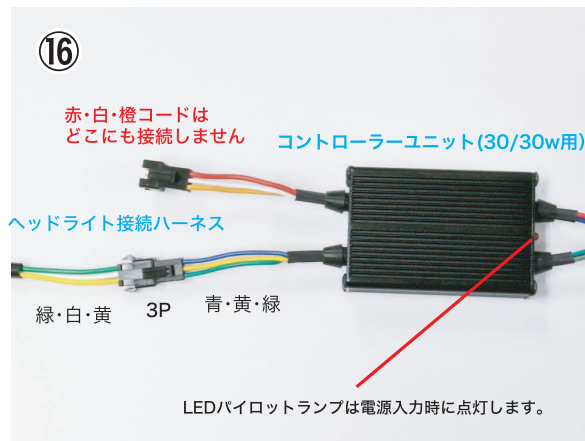


- ⑮ 部品表①のコントローラーユニットを付属の両面テープでガソリタンク下のフレームに貼り付けます。
必要に応じて結束バンドで固定してください。



- ⑯ コントローラーユニットとヘッドライト接続ハーネスの黒3Pカプラーを接続します。

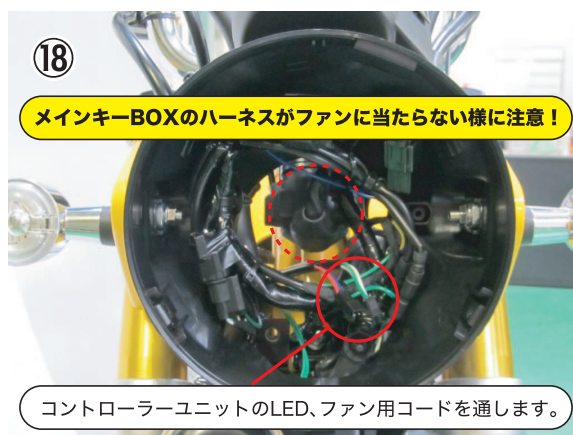
※赤・白・橙の3Pカプラーはどこにも接続しません。



- ⑰ 部品表②のヘッドライトユニットのレンズリムとケースを分割してケース両側面に組付けられているネジ、ワッシャー、ナットを一旦取り外します。



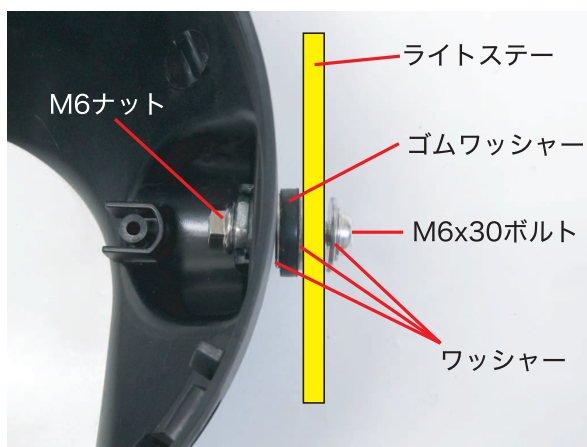
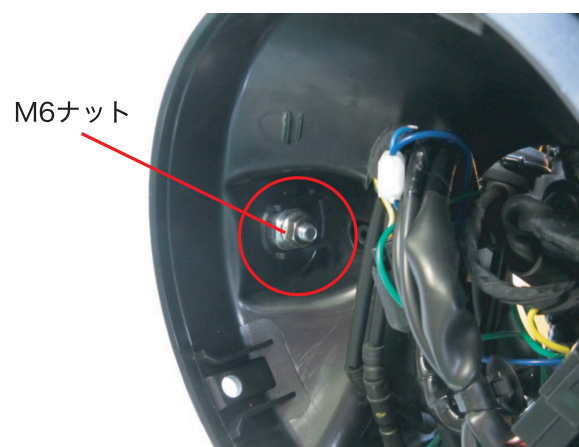
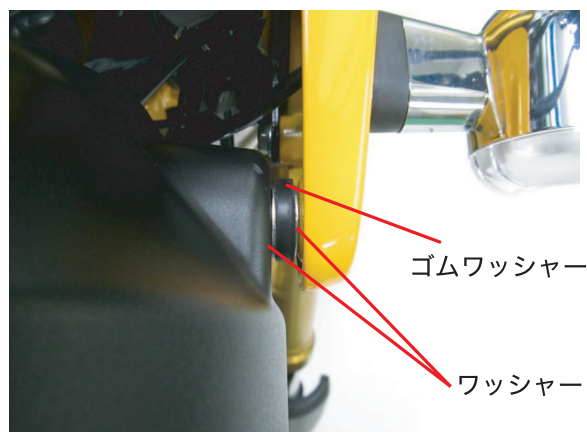
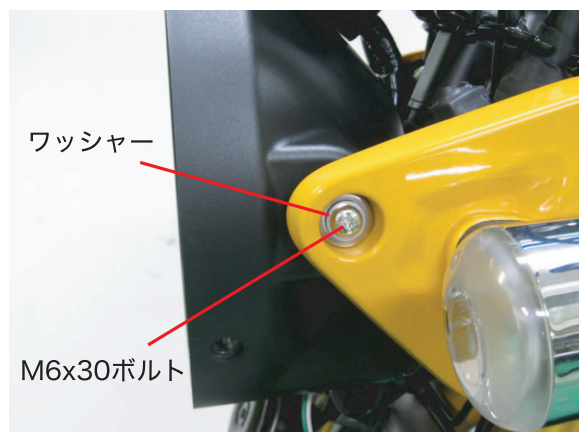
- ⑱ ヘッドライトユニットのケースを取付けます。ケース内に車両側ハーネスとコントローラーのコードを入れます。
※ケース中央にはLEDバルブの電動ファンが入りますので、メインキーBOXハーネスが当たらない様に注意してください。



ネジ、ワッシャー、ナットの組付けの順番は以下の4枚の画像を参考に取り付けてください。

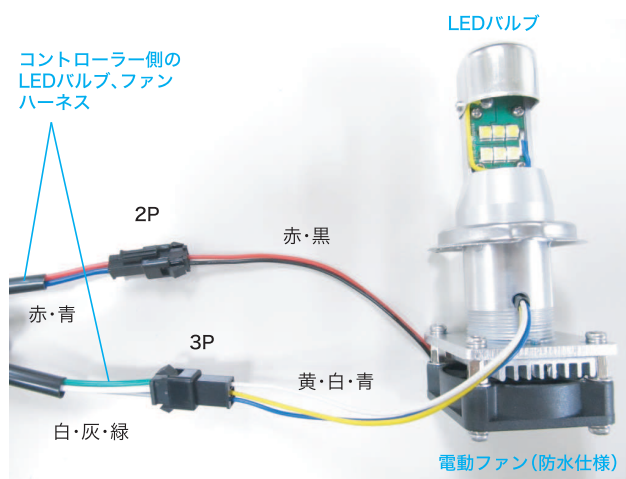
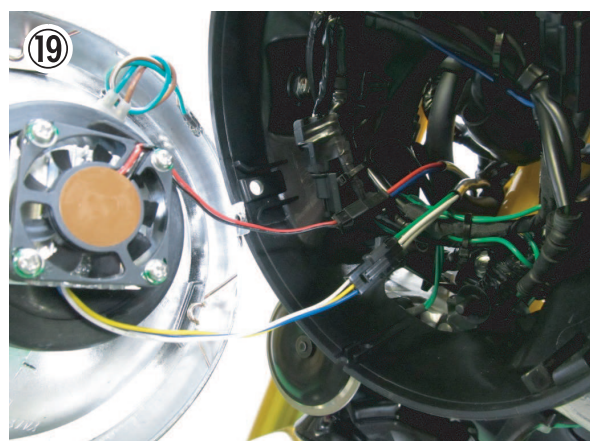
※あとで光軸調整を行いますので、M6x30ボルトは完全に締めずにナットのセレート部がケース内側に適度に接触する程度にします。

※M6x30ボルトを締め込んでもヘッドライト本体上下に動いてしまう場合は、ヘッドライト本体とヘッドライトステーの間に入れるゴムワッシャーとワッシャーを使用せずに、市販のアルミスペーサーカラー(厚さ7~8mm)に交換してください。



①⑨ LEDバルブのコード(3Pカプラー)と電動ファンのコード(2Pカプラー)をコントローラーユニットのコードと接続します。

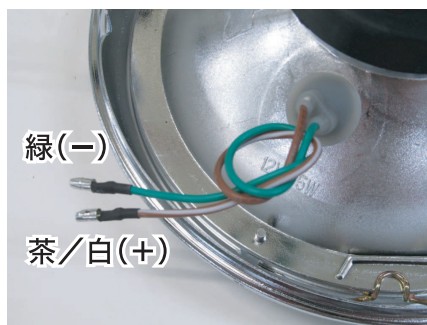
※LEDバルブと電動ファンは、出荷時の状態でヘッドライトレンズ側に予め組み込まれております。



取付け手順 ⑳

㉔ ヘッドライトレンズ&リム部をヘッドライトケースに取り付けます。

㉓で取り外したネジ2本を使用して、ヘッドライトケース側面の○印の2か所で取り付けます。



ヘッドライト常時点灯車両の為、ポジション球の配線は接続しませんが、必要に応じて茶/白(+)を部品表⑤の黒コードへ、緑(-)を部品表⑦の緑へそれぞれ割り込ませれば点灯致します。

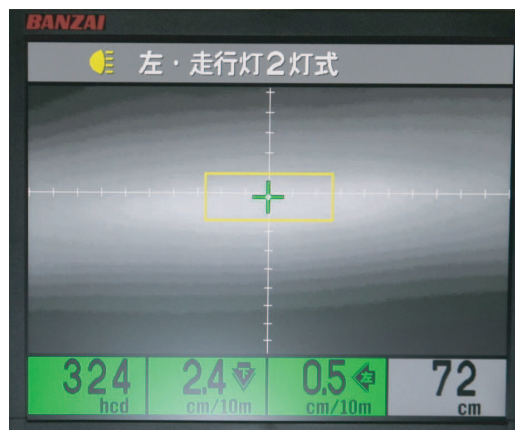
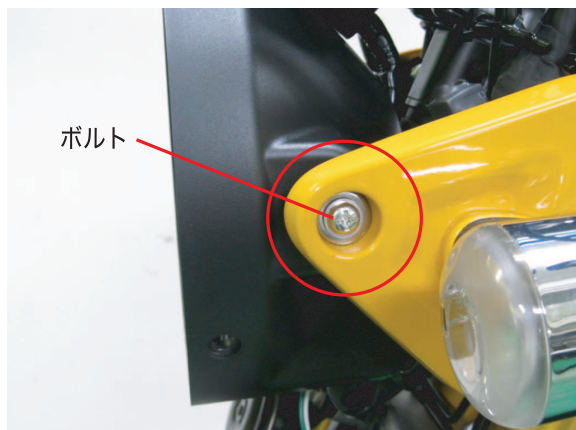
※ポジション球は一般的なT10です。

光軸調整について

取り付け後はLED対応のヘッドライトテスターにて光軸の調整を行ってください。

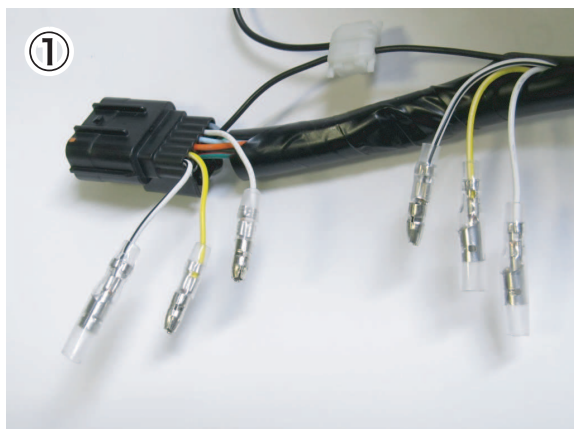
上下方向への調整はヘッドライト左右のボルトを緩めてヘッドライト本体を上下させます。

当社にてBANZAI製ヘッドライトテスターを使用して光軸の測定を行い車検基準合格である事を確認しております。車検合格基準値の150hcdに対して本製品は324hcdの最高光度がございます。



ノーマルLEDヘッドライトの戻し方について

① 手順⑩で接続した部品表⑤と⑦のコードを全て外し、下の画像の様にします。



② 手順⑨で圧着した12Pカプラー側の白、黄、白/黒コードをそれぞれ接続します。



上記①②を行った後に本製品のLEDヘッドライト本体を取り外して、ノーマルライトを装着します。

その他

ハイビームインジケータはエンジン作動中のみハイビーム切替えた際に点灯致します。
キーONでヘッドライト点灯致しますが、エンジンが停止している状態でハイビームに切替えてもインジケータは点灯致しません。



LEDバルブとファンは反時計回りに3回転させると分割する事ができます。LEDバルブ後部とファンユニットのヒートシンク密着面には部品表③の導熱用グリスが塗られています。導熱用グリスを拭き取ってしまった場合には必ず部品表③の導熱用グリスを塗って密着するまで締め込みます。

